

会社概要 / 株式の状況 (2019年2月28日現在)

会社概要

会社名	シンメンテホールディングス株式会社 (英文表記: Shin Maint Holdings Co.,Ltd.)
資本金	234,542千円
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ
従業員数	181名(連結)
本店所在地	〒140-0011 東京都品川区東大井二丁目13番8号 ケイヒン東大井ビル 3F TEL 03-5767-6461 (代表)
創業年月日	1999年10月
事業内容	店舗・施設の設備機器及び内外装等の トータルメンテナンスサービス事業を行う 子会社の経営管理

役員 (2019年5月24日現在)

代表取締役会長兼社長	内藤 秀雄
専務取締役	村山 政昭
常務取締役 CFO	大崎 秀文
常務取締役	内藤 剛
社外取締役	脇本 源一
常勤監査役	上野 満雄
社外監査役	山縣 有徳
社外監査役	田村 稔郎

株主メモ

[事業年度]	毎年3月1日～翌年2月末日まで
[剰余金の配当基準日]	8月31日 2月末日
[定時株主総会]	毎年5月中
[株主名簿管理人]	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
[事務取扱場所]	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先]	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(通話料無料)
[公告の方法]	当会社の公告は、電子公告により行います。 http://www.shin-pro.com/ 但し、やむを得ない事由により、電子公告によることが できない場合は、日本経済新聞に掲載しております。

シンメンテホールディングス株式会社

〒140-0011 東京都品川区東大井二丁目13番8号 ケイヒン東大井ビル 3F TEL:03-5767-6461(代表)

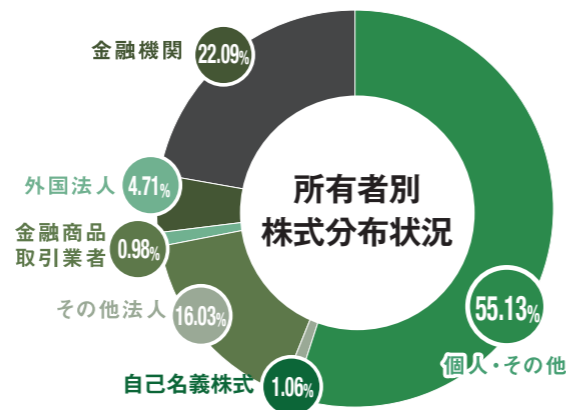
株式の状況

発行可能株式総数	12,000,000株
発行済株式の総数	5,326,788株 (自己株式57,312株を除く)
株主数	1,422名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
内藤 秀雄	1,226,800	23.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	683,500	12.83
株式会社乃村工藝社	548,424	10.29
内藤 剛	390,000	7.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	275,300	5.16
株式会社Shu Management	200,000	3.75
合田 利恵	189,000	3.54
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	151,700	2.84
アンドン株式会社	100,000	1.87
大崎 秀文	78,000	1.46

(注)1. 当社は、自己株式57,312株を所有しておりますが、持株比率は自己株式を除いて計算しております。
2. 持株比率は小数点第3位を切り捨てて表示しております。



連結財務ハイライト

■連結貸借対照表より (単位:千円)

科目	第33期	第34期
資産合計	4,596,128	5,025,148
負債合計	2,836,709	2,752,746
純資産合計	1,759,419	2,272,402

■連結損益計算書より (単位:千円)

科目	第32期	第33期	第34期
売上高	5,648,431	9,844,776	14,152,117
経常利益	258,937	335,619	644,305
親会社株主に帰属する当期純利益	173,086	250,215	501,909

*当社は前期(第33期)より連結決算へ移行いたしました。そのため、第32期につきましては、単体の数値を掲載しております。

第34期 株主通信

2018.3.1 ▶ 2019.2.28

BUSINESS REPORT

シンメンテホールディングス株式会社



ごあいさつ



代表取締役会長兼社長
内藤 秀雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の経営理念は私の信条でもある「夢新」(むしん、ゆめあらた)で、常に新しいことにチャレンジを継続し、今日までまい進いたしてまいりました。

当社のビジネスモデルとしましては、チェーン店、外食産業、小売業、理美容・介護業界など、さまざまな業態でチェーン化を展開している店舗で発生する修理・修繕、メンテナンス業務を行っています。このメンテナンスの依頼を受けている店舗は、2019年2月末で5万5,206店舗となりました。営業面も強化しており、積極的に新規開拓を推進し、前年比で4,918店舗増加しました。

メンテナンス業務を行う上で、欠かせないのが協力会社様(メンテキーパー)とのネットワークです。修理・修繕において長年培ってきました技術力を駆使して速やかに、安価に精度の高いサービスを提供しています。案件の内訳は厨房機器、給排水関連、空調・ダクト関

連、電気関連などです。

当社は、2017年9月に更なる成長に向けての事業領域拡大のためにシンプロメンテ株式会社、株式会社テスコを子会社としたホールディングス化に踏み切りました。ホールディングス化後、店舗メンテナンス事業のグループ運営体制を構築し、互いの強みを発揮、当期は過去最高益を更新しました。

当社が取り組んでいる「夢新」な挑戦のひとつが海外への進出です。継続的に企業を発展させるためには国内だけでなく、海外にある店舗のメンテナンスも手掛けていかなくてはなりません。そのため、当社は、前期から全米レストラン協会(NRA)が主催し、シカゴで開催されるビジネスショーにブースを出展、海外市場の情報収集に努めております。

株主の皆様のご期待に添えられるよう、日々精進してまいりますので、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

IRインフォメーション

株主優待制度

●対象となる株主様
毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を1単位(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。

●株主優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上、300株未満	全国共通お食事券ジェフグルメカード 500円相当分の交付
300株以上、900株未満	全国共通お食事券ジェフグルメカード 1,000円相当分の交付
900株以上	全国共通お食事券ジェフグルメカード 3,000円相当分の交付

*「全国共通お食事券ジェフグルメカード」とは、全国35,000店舗の加盟店でご利用いただけるお食事券です。

●贈呈時期

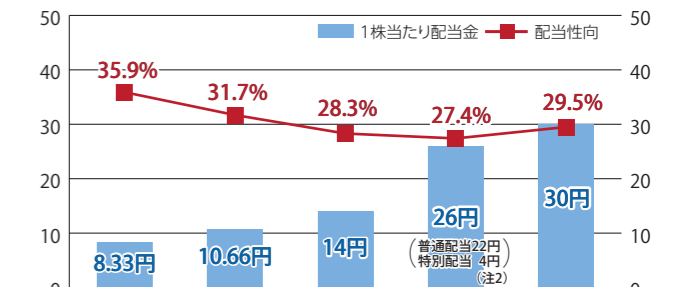
毎年、定時株主総会終了後にお送りする「定時株主総会決議ご通知」とともに発送しております。



配当につきまして

●長期的かつ総合的に株主利益の向上を図り持続的に配当を行うことを基本方針とし、配当と株主優待の総合的な株主還元を強化していくことを目指します。

1株当たり配当金と配当性向



(注1) 2017年11月1日を効力発生日として普通株式1株を3株に分割、2017年2月期までの配当金に関しては遡及修正を行い表示しております。

(注2) 特別配当は、売上高、各利益が予想を上回る結果になったことに加え、繰延税金資産の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益が当初計画を超過する見通しとなったことによります。

次の飛躍の準備としてM&Aの締めくくり、労働生産性の向上、綿密な事業戦略の策定に取り組んでまいります。

当社の2019年2月期の決算は4期連続、過去最高益を更新しました。当期は株式会社テスコとの統合効果が業績に大きく寄与しており、今後は着実な安定成長に加え中長期の拡大戦略を推進してまいります。

Q 2019年2月期(当期)業績についてお聞かせください。

A 当期の業績につきましては、売上高、各利益ともに過去最高を更新するなど、昨年度の株式会社テスコとの統合2年目の効果が表れてきました。売上高はシンプロメンテ株式会社、株式会社テスコともに依頼件数の増加により過去最高を更新し、経常利益は4期連続、過去最高益を達成しました。

当社グループ売上高の大半を占める「緊急メンテナンスサービス」では、新規顧客の獲得に加え、既存顧客のサービス対象店舗数及びメンテナンスの対象種類の増加による依頼数の増加、夏場のエアコン新規入替の受注増により堅調に推移しました。

突発的な設備・機器の不具合発生を未然に防ぐための「予防メンテナンスサービス」では、当社グループのメンテナンス実績が評価され、大手チェーン企業の店舗を中心に既存サービスであるエアコン、冷凍・冷蔵機器についての事前整備・点検・洗浄が好調でした。

テスコの業績貢献は、計画通り実績を出し始めています。営業的にコラボすることがあり、シンプロメンテのお客様にテスコが持っている環境・保全のノウハウを提案することによってシナジー効果を発揮し成果を上げています。その一つとしてドラッグストアの大手チェーンと契約する運びになりました。

このようにM&Aの後の改革が順調に進んだことで、売上高141億52百万円(前年同期比43.8%増)、営業利益6億32百万円(同90.8%増)、経常利益6億44百万円(同92.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5億1百万円(同100.6%増)と当期も増収増益を達成しました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益が当初計画を超過する見通しとなったのは、繰延税金資産の計上によります。

Q 2020年2月期(今期)の業績見込みと今後の展開についてお聞かせください。

A 売上高、各利益ともに過去最高を予想し、原価精査・業務効率化の推進により各利益率の上昇を見込んでいます。今後は、外食産業の海外進出・人口減少・働き方改革・超高齢化社会・メンテナンス人材不足と変化してきます。当社グループは店舗メンテナンスサービスをワンストップで提供する事業モデルをさらに追求し、顧客に利便性と効率性を享受していただけよう、メンテナンスサービスの質向上に努めています。今期の連結業績は、売上高150億円(前年同期比6.0%増)、営業利益7億38百万円(同16.4%増)、経常利益7億42百万円(同15.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5億42百万円(8.1%増)を計画しています。

また、来期以降の飛躍の準備としては①M&Aの締めくくり(期待利益の回収。ノウハウ化)②労働生産性の向上(儲ける人づくり。仕組みづくり)③綿密な事業戦略の策定(市場調査。プランニング)に取り組んでまいります。人口減少や景気全体の減速など外的環境の変化が予想されますが、着実な安定成長に加え中長期の拡大戦略を推進してまいります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 当社は長期的かつ総合的な株主利益の向上を図り、持続的な配当を行うことを基本方針としています。当期の期末配当は、1株当たり26円(通常配当22円、特別配当4円)とさせていただきます。今期の期末配当は4円増配の30円の配当を予定しています。

株主優待制度は従来どおり保有株数に応じて「全国共通お食事券ジェフグルメカード」を贈呈いたします。

株主の皆様には、引き続きより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

特集 “踊り場”と中長期の拡大戦略

“踊り場”で、次の飛躍の準備

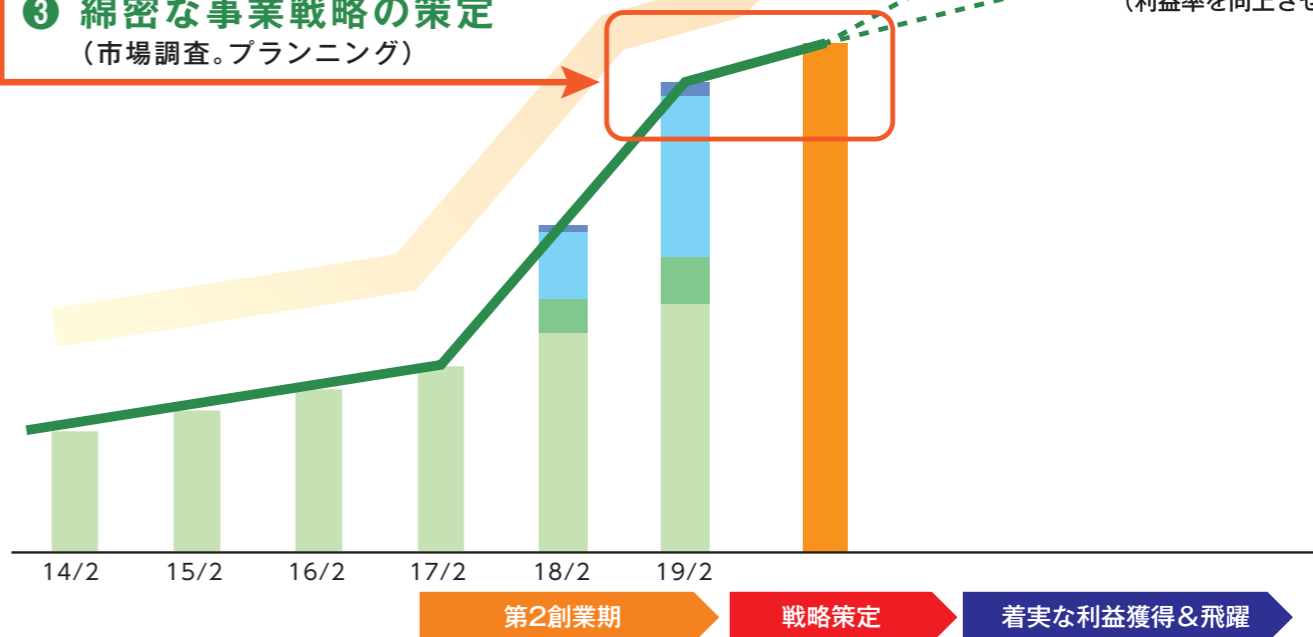
- ① M&Aの締めくくり
(期待利益の回収。ノウハウ化)
- ② 労働生産性の向上
(儲ける人づくり。仕組みづくり)
- ③ 綿密な事業戦略の策定
(市場調査。プランニング)

中長期の拡大戦略

M&A等で急拡大
(規模の経済。事業規模拡大)

戦略的に拡大
(選択と集中を徹底しつつ)

着実に成長
(利益率を向上させつつ)



外的環境変化

- 人口減少
 - ・お客様のビジネス縮小
 - ・メンテナンス従事者の減少
- 景気全体の減速
- 伸びる業界、沈む業界
- メーカーからの値上げ圧力

拡大するための武器

- 年率10~15%の安定成長を実現する営業力・経営力
- 優秀な人材を採用・育成・動機づけし、活躍してもらう仕組み
- 情報システムやロボット等労働生産性を向上させる仕組み
- M&Aを成功させるノウハウ
- 海外市場に関する知識・見識
- 市場動向を踏まえた綿密なビジネスプラン

「エアコン洗浄ロボット」の推進

- エアコン洗浄ロボットにおいて共同開発する日菱インテリジェンス株式会社と基本合意書を締結しました。9月にはプロジェクトを立ち上げてモーターの開発、安全検査を行い確実に出荷できるように取り組んでいきます。

ロボットを活用したエアコン洗浄のメリット

- 高品質 何台洗浄してもロボットは疲れることがないので、高品質を維持することができます。
- エコ 高品質で洗浄することができるので、期待した節電効果を確実に得ることができます。
- 時間短縮 作業員の習熟度によらず、短い時間で高品質の洗浄を行うことができます。
- 人員削減 手洗浄よりも少ない人員数で洗浄作業を進めることができます。
- クリーン 手洗浄と比較して、作業現場が汚く見えない。

人手不足が叫ばれる昨今、自らの労働生産性向上、働き方改革を成し遂げ、より良いサービスを提供し続けることを目指しております。

